



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アサンテ

コード番号 6073 URL <http://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 飯柴 正美

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,991	8.7	1,502	△8.4	1,514	△8.4	1,005	△6.4
28年3月期第2四半期	7,349	3.3	1,640	△2.9	1,653	△2.2	1,074	1.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	81.49	—
28年3月期第2四半期	87.09	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,687		10,871			74.0
28年3月期	14,025		10,359			73.9

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 10,871百万円 28年3月期 10,359百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	23.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,470	9.0	2,167	△7.1	2,174	△7.1	1,417	△4.6	114.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	12,341,900 株	28年3月期	12,341,900 株
29年3月期2Q	68 株	28年3月期	68 株
29年3月期2Q	12,341,832 株	28年3月期2Q	12,341,837 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成28年11月14日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかにT Dnet!に開示のうえ、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、円高の進行や海外経済の減速懸念から、先行き不透明な状況が続いております。

当社市場におきましては、既存家屋の長寿命化と保全に関する意識の高まりが、白蟻防除や地震対策を主軸とした当社事業にフォローとなっているものの、消費者マインドの回復は鈍く、また、労働需給の逼迫に伴い人材確保競争が厳しさを増し、依然として厳しい事業環境にあります。

このような状況下において、当社は人材の採用・育成体制を強化して人員増強に努めました。

また、映画「ゴーストバスターズ」とのタイアップCMの公開に併せ「シロアリバスターズ®」を商標登録し、CM、新聞折込、WEB媒体等を駆使した販促活動を展開して、認知度向上にも努めました。

この結果、売上高は前年同期比642百万円増(8.7%増)の7,991百万円となりました。

損益面では、退職給付費用が前年同期比189百万円増加したほか、人員増に伴う労務費、人件費の増加や広告宣伝費の増加等により、営業利益は同138百万円減(8.4%減)の1,502百万円、経常利益は同138百万円減(8.4%減)の1,514百万円、四半期純利益は同69百万円減(6.4%減)の1,005百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社の業績(特に利益)は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前期末比661百万円増加して14,687百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の484百万円増加、売掛金の344百万円増加、投資その他の資産に含まれる前払年金費用の131百万円減少であります。

負債は、前期末比149百万円増加して3,815百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の120百万円増加であります。

純資産は、前期末比512百万円増加して10,871百万円となりました。要因は、四半期純利益1,005百万円の計上による増加、剰余金の配当による493百万円減少であります。

この結果、自己資本比率は74.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末比484百万円増加して6,641百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,024百万円(前年同期は1,047百万円増加)となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益1,514百万円、主な減少要因は、売上債権の増加額354百万円、法人税等の支払額456百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は21百万円(前年同期は20百万円減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は518百万円(前年同期は433百万円減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額492百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、概ね当初予想通りに進捗いたしました。下半期においては、引き続き人員の増員と育成に努め、営業力の更なる向上に取り組んでまいります。

なお、売上原価、販売費及び一般管理費については、前期に発生した数理計算上の差異の全額を今期に処理することに伴い、退職給付費用404百万円（前期比377百万円増）を計上する見込みです。

このような状況を踏まえ、通期の総売上高は前期比1,196百万円増（9.0%増）の14,470百万円、営業利益は同164百万円減（7.1%減）の2,167百万円、経常利益は同165百万円減（7.1%減）の2,174百万円、当期純利益は同67百万円減（4.6%減）の1,417百万円と予想しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間における、四半期財務諸表への影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,156,713	6,641,148
売掛金	1,796,180	2,140,730
製品	60,512	54,618
原材料及び貯蔵品	135,882	135,835
その他	278,777	287,295
貸倒引当金	△179	△214
流動資産合計	8,427,886	9,259,415
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,712,210	1,673,615
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	202,733	198,392
有形固定資産合計	4,867,549	4,824,613
無形固定資産	39,712	38,660
投資その他の資産		
その他	742,026	617,003
貸倒引当金	△51,407	△52,518
投資その他の資産合計	690,618	564,485
固定資産合計	5,597,880	5,427,758
資産合計	14,025,766	14,687,174
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,665	317,052
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	412,788	391,172
未払法人税等	489,640	609,750
賞与引当金	255,948	262,297
その他の引当金	—	30,000
その他	894,776	911,881
流動負債合計	2,412,818	2,592,153
固定負債		
長期借入金	619,280	627,856
役員退職慰労引当金	488,226	496,837
資産除去債務	66,791	69,020
その他	79,456	30,059
固定負債合計	1,253,754	1,223,774
負債合計	3,666,572	3,815,928
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,156,410	1,156,410
資本剰余金	856,410	856,410
利益剰余金	8,346,466	8,858,519
自己株式	△92	△92
株主資本合計	10,359,194	10,871,246
純資産合計	10,359,194	10,871,246
負債純資産合計	14,025,766	14,687,174

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,349,079	7,991,362
売上原価	2,052,982	2,242,761
売上総利益	5,296,097	5,748,600
販売費及び一般管理費	3,655,888	4,246,399
営業利益	1,640,208	1,502,200
営業外収益		
受取利息	677	354
受取保険金及び配当金	23,132	22,035
その他	3,680	2,989
営業外収益合計	27,490	25,379
営業外費用		
支払利息	5,995	4,707
支払手数料	5,880	5,880
その他	2,471	2,580
営業外費用合計	14,347	13,167
経常利益	1,653,351	1,514,412
税引前四半期純利益	1,653,351	1,514,412
法人税、住民税及び事業税	576,188	554,351
法人税等調整額	2,283	△45,664
法人税等合計	578,472	508,686
四半期純利益	1,074,879	1,005,725

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,653,351	1,514,412
減価償却費	82,968	76,706
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,151	1,145
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,839	6,349
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,564	8,611
受取利息及び受取配当金	△677	△354
支払利息	5,995	4,707
売上債権の増減額 (△は増加)	△246,671	△354,669
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,806	5,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,761	27,387
その他	△217,013	194,864
小計	1,295,480	1,485,100
利息及び配当金の受取額	677	354
利息の支払額	△6,316	△4,583
法人税等の支払額	△241,985	△456,099
その他	△316	△479
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047,540	1,024,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△16,194	△16,006
その他	△3,885	△5,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,079	△21,113
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△221,790	△213,040
配当金の支払額	△395,079	△492,936
その他	△16,393	△12,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433,262	△518,742
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	594,198	484,435
現金及び現金同等物の期首残高	5,021,289	6,156,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,615,487	6,641,148

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。